



紺 碧

調布稲門会 会報

2020.1 第51号

年2回(1月、6月)発行

事務局 〒182-0022

調布市国領町 7-56-14

芦澤友雄方

Tel&Fax 042-489-6507

E-mail

ashitomo@mtg.biglobe.ne.jp

編集責任者 高原浩 柵木真也



特集・2019 福祉まつりバザー

**稲門会挙げての取り組み—2日間の作業に総勢46人の会員・準会員・家族が汗を流す
寄付額25万円超え、予想以上の成果に達成感！！**

2019年暮の調布市福祉まつりバザーは4年ぶりに調布駅南口広場に会場を移し11月30日（土）、12月1日（日）の両日、盛大に開かれました。ラグビーワールドカップの余韻冷めやらぬ同会場で調布稲門会も幹事・会員・準会員・家族の皆さんが全力を挙げて取り組み、寄付金も予想以上の額を達成できました。これもバザー用の品物を多数寄付して下さった会員・近隣の方々のご協力の賜物と、一同感謝しています。今回はバザー直前に企画したカニ山芋煮会が悪天候のため中止に追い込まれたため、会員の熱意がバザーに集中して振り向けられた格好になりました。（編集部・高原浩）—作業風景の写真を最終ページに—

好天、無風、客足も好調

この催しは調布市社会福祉協議会が毎年暮に市役所周辺で開いているもので今回が42回目。調布稲門会は地域貢献事業の柱と位置付けて毎年、会を挙げて取り組んでいます。今回は好天、無風、客足も好調で売り上げが伸びたことなどが寄与、社協への寄付額は25万5805円と前年度を5万円ほど上回ることができました。後日、山田和子会長代行と明石純一会

計担当幹事が社協を訪問して寄付金を納め大変喜ばれました。全約90のバザー出店団体中、金額では第3位、大学校友会の中ではもちろんトップでした。

値付け作業に26人、販売には30人が参加

バザー前日の11月30日は寄付品の仕分け・値付け作業、12月1日はバザー会場での販売作業があり、合わせて46の方が参加して頑張りました。このうち値付け作業には26人が参加、いつもの特養老人ホ

ーム爽爽荘（飛田給）のホールをお借りして市内12カ所の集荷場所（会員宅）から集めた寄付品の山と格闘しました。

翌12月1日は早朝から快晴の好天に恵まれ、絶好のバザー日和。朝8時過ぎから稲門会幹事らが集合（総勢30人）、割り当てられた2つのテントの柱に早稲田大学の幟旗などを取りつけたり、日用品・雑貨、衣料、陶磁器、書籍別に商品を並べたりしておよそ1時間半かけて準備完了。そして午前10時に販売開始、待ちきれないお客がテントに迫り、品物が次々と捌けていく。

三田会のテントと隣り合わせ、お客呼び込み合戦

今回は初めて調布三田会のテントと隣り合わせに。



林立する早慶の幟旗を前に山田会長代行と三田会の岸野千賀子会長がエールを交換する（写真左）傍ら、

稲門会幹事が大声で「お手に取ってみて下さい。いいものが沢山あります」と呼び込めば、三田会も負けじとばかりお客を誘う。そんな早慶戦が午後2時半の販売時間ぎりぎりまで続きました。

会場には林貞夫、元木勇、椎原大典さん（いずれも元会長）はじめ役員・幹事OBも多数、応援・激励に来訪（写真横）、また40代の教育学部出身同級生ご夫婦が会場で稲門会に入会して下さる嬉しいハプニングもありました。



「いい数字が出たのでは」声も、そして打ち上げへ

そして午後2時半、販売終了の掛け声とともに全員で素早く撤収作業、売れ残った商品の段ボール箱や稲門会備品を大型バンに積み込み、車の前で記念の集合写真を撮影（写真右上）。「結構売れた。いい数字が出たのでは」との声も上がり、皆、心地よい疲労感、達成感に満足気でした。解散後、「たづくり」1階の喫茶室で有志による打ち上げ会も開かれました。

参加者（作業担当者のみ）明石純一、芦澤友雄、天野凡子、石井宏和、石田欽也、潮田健太郎、大谷裕子、大塚公久、小口俊

朗、川嶋菊枝、桑原貴子、小松増美、近藤精華、嶋田浩一、関口憲三、相馬友子、高原浩、竹本和正、坪井貞光、戸坂千香子、野崎久美子、萩原稔、原田敦夫、福地健治、福地ひとみ、舟久保賢一、坊野美代子、堀龍之介、堀井時枝、堀内正之、堀内あや子、柵木真也、柵木玲子、松野宏、松村啓之亮、松村葉子、村上溢恵、森山耕一、山口泉、山崎正昭、山田あかね、山田和子、山田啓文、山本あおい、リンチャーシュエン、浦田みちる



2019 福祉まつりバザー総括 会長代行 山田和子

2015年にバザーのリーダーを引き受けた時、バザーは女性の協力が不可欠と思いました。家庭を管理している女性達にバザーの存在を知ってもらわなければ、品物の提供数が覚束ない。そこで当時注目されていた近藤流片付け方法、「ときめきますか？」の刺激的な題のコラムを記載し「品物提供のお願い」を配布しました。以後嬉しいことに、たくさんの品物を提供して頂いています。

値付け、販売でも女性の協力が不可欠です。同年、活動10周年を迎えた「食・歩会」を「女性の会」と改称し、女性会員・準会員全員参加型とし、隔月開催で、近場でのランチ会も新たに始めていました。遠出が難しい人も気軽に参加可能となり、女性会員・準会員のコミュニケーションがさらに深まりました。自然にバザー参加者も増え、この5年間、この流れは変わっていません。同好会の協力も有難いです。特に太極拳同好会には積極的に品物を集めて頂き、大いに助けられています。課題は、品物を限られた時間内で売り尽くせないこと。残った品物のうち食器、日用品類等は、幹事、協力者の自宅で次年度バザーまで分担保管しますが、衣類は有効活用して頂きたく福祉関係リサイクルショップに寄付しています。

調布稲門会にとって、バザーは男性・女性会員・準会員が揃い、力を合わせて仕事をする場。2019年も10人が新たに参加しました。寄付金での地域貢献だけでなく、確実に地域の人々、会員・校友の交流の場として育ってきています。会員・準会員、そしてご家族の皆様、今回のバザーでのご協力に感謝致します。

調布稲門人

第3回「若葉の森3・1会」代表 野村大也（のむらひろや）さん(72) 昭45理工

仙川地区の崖線緑地保全活動、リーダーとして頑張る <インタビュー・構成 編集部・高原浩>



野川沿い北側に三鷹から調布、世田谷へと連なる緑の段丘がある。大昔に多摩川

が削った国分寺崖線、地元で「はげ」といわれるものだ。調布市民になじみの深い深大寺もその一角にあるが、野村さんは調布に住んで20年、住まいのある仙川・若葉町で、「若葉の森3・1会」代表としてこの崖線緑地の保全活動に長年、精力的に取り組んでいる。（右写真は作業風景）

10年ほど前、調布市の「雑木林塾」を受講したのがこの活動に入ったきっかけ。受講後、環境保全活動の先輩に勧誘され、野村さんら3人で会を発足。自宅のすぐ下、高低差約20mの崖線斜面を含む2カ所の緑地が活動の舞台。若葉小や調布四中が隣接し児童の通学路沿いだから手入れを怠れない。この活動で草茫々の荒れ放題だった空き地がみちがえるようにならった。今では仲間も10人に増えた。毎月第1日曜日の午前中、2時間半ほどかけて下草手入れ、枝・小樹木伐採、笹など不要植生の除去、柵・土留めなど造作の土木工事などに心地よく汗を流す。

「隣にある武者小路実篤邸のように、ある程度手入れの行き届いた状態に戻す」のが目標。日差しが届くようになって「キンラン」「ギンラン」といった都の絶滅危惧種が復活、再生したと喜ぶ。活動は「自分のためでもあるが、昆虫の寝床づくりなど子供たちのためにやっている面もある」。近所の幼稚園・保育園の児たちが園庭替りにここによく訪れて遊んで帰るとか。目を輝かしてはしゃぎまわる園児たちの姿が目につく。



色白、小柄で紳士然とした話しぶりの傍ら、古武士の様な一徹さを感じる。野村さんのモットーは「非核、反戦、多様性」。広島県三次生まれ、県立福山誠之館高校から早稲田へ。母方の叔父は広島市で被爆した。加えて大手電機メーカーに就職後、長崎駐在が延べ19年間。広島・長崎というキーワードは野村さんの人となりや如実に物語っているようだ。会は2011年に「崖線緑地の保全活動」で調布市と協働契約を結んだ5団体の一つとして、市に正式に「認知」された。「好きでやっているだけではない」ことが明確にされ、それが会の大きな励みにもなっている。

観月会（2019年9月）

「十七夜月を愛でる？」ならぬ、旨い酒とおしゃべりを堪能しました

（編集部・高原浩）

恒例の観月会を2019年9月15日（日）午後4時半から、ラグビーのワールドカップ開催間際の味の素スタジアム近くにある中国料理「酔八仙」（飛田給）で開きました。60～80歳代中心の参加者38人が、この日の「十七夜月（立待月）」を愛でる（？）というより専ら旨い酒と料理とおしゃべりを堪能しました。前年は台風襲来のため開催を断念した観月会、今回は穏やかな日和に恵まれ和気あいあいに開催する



ことができました。石田欽也副幹事長の軽妙な司会により、まず山田和子会長代行が「思わぬ形で会長代行になりましたが、やる以上はしっかりやります」と決意表明しました。6月に急逝された岡田文男会長に全員で黙とうを捧げた後、五十嵐眞会員の発声で乾杯、宴に入りました。飲食・歓談の傍ら、新入会員が紹介された後、秋冬イベントの福祉バザー、多摩川クリーン作戦、キテネ特別プロジェクト、稲門祭の概要が各担当から説明、ついで同好会（全13）から主要な会の活動状況が熱心に報告されました。今年の

会場は貸切りではなかったため、締め在校歌斉唱が叶わなかったのが唯一心残りですが、最後は全員で記念撮影（写真）してお開きとなりました。

参加者 明石純一、芦澤友雄、五十嵐眞、石井宏和、石倉毅、石倉恵子、石田欽也、岩崎博重、潮田健太郎、大槻暉子、小口俊朗、鍋木潤三、河野瑠美、小林正子、齊藤宗之、椎原大典、嶋田浩一、関口憲三、高原浩、坪井貞光、戸坂千香子、中野完二、濁川寿次、萩原稔、坊野美代子、堀龍之介、堀内正之、柵木真也、柵木玲子、松野宏、元木勇、森本祐幸、安松董矩、山口泉、山崎正昭、山田和子、山田啓文、和久田豊

キテネプロジェクト

心肺蘇生術・AEDの実地訓練、3時間の長丁場——熱心に学ぶ 担当幹事 松野宏（昭43教育）

2019年10月26日（土）、調布稲門会の活性化を目的にした「キテネ」プロジェクトの一環として「心



肺蘇生術とAEDの最新知識と実地訓練」のイベントを調布消防署のつつじが

丘出張所で実施しました。参加者は12人。このイベントは今回が2度目、2018年に実施して好評だったので再度開催しました。消防署から会場、教材、説明の全面支援をして頂き、東京防災救急協会作成のテキストに沿って、心肺蘇生、人工呼吸、AEDによる除細動（電気ショック）や気道異物除去、止血法などの講義と実技を受けました。（写真は前回の模様）

実地訓練では、床に置かれた4体のダミー人形を使って参加者全員が心肺蘇生の実技、マウスピースを使った人工呼吸、AEDの使い方を習い、そして今回は特に乳幼児への緊急対応も説明して頂きました。テーマがテーマだけに受講者の表情は真剣そのもの。前回、受講後実際に路上で遭遇した急病人に心肺蘇生を施して救急車に引き継いだという受講者の話も披露され、現実味あふれた受講となりました。

消防署の説明スタッフには3時間にわたって精力的に対応して頂き、終了時にはスタッフに盛大な拍手が送られました。参加者全員に満足の笑顔が見えたところでこの日のお開きとなりました。

参加者 芦澤友雄、芦澤三千代、潮田健太郎、坪井貞光、舟久保賢一、堀井時枝、柵木真也、柵木玲子、松野宏、森山耕一、山口泉、山田和子

2019 稲門祭 & 箱根駅伝予選会応援

瀬古実行委員長が稲門祭の顔に／箱根予選会は冷や冷やの通過 副幹事長 石田欽也（昭55商）

[稲門祭]これは秋に校友とその家族の親睦を深めるお祭りで、2019年は10月20日（日）に早稲田の杜で開催されました。調布稲門会からは毎年実行委員を送り出し運営の一翼を担っています。今回はマラソンの瀬古利彦氏が実行委員長を務めました。稲門祭のテーマは瀬古氏に因み「走れ WASEDA 世界へ 未来へ 襷（たすき）をつないで」でした。天候にも恵まれ、瀬古氏の明るいキャラ・リーダーシッ

プのもと成功裏に終幕を迎えました。（写真は瀬古氏と筆者＝右）

稲門祭の企画の一つに模擬店があります。三多摩稲門会有志で「サロン・ド・三多摩」を大隈庭園に出店し、多摩の名菓・銘酒を販売しつつ販売メンバーはワンコインで



終日飲み放題という趣向で三多摩稲門同窓の交流の場でもあります。**【箱根予選会】**母校は正月の箱根で12位に沈み、10月26日（土）13年ぶりに予選会に挑みましたが、トップスリーでの通過を目標としたと聞きましたが、9位通過という極めて不本意な成績で、よもやの落選かと稲門応援団をやきもきさせ

ました。太田主将以下選手に笑顔はありませんでした。終了後は立川稲門会の設営により「ちゃんこ花道」にて総勢約40名で懇親会を催しました。現役応援部リーダーにも加わっていただき大浦幹事共々に盛り上がりました。なお今年正月の本戦は奮起して7位に食い込み来年のシード権を確保しました。

2020 会長代行新年ご挨拶

五輪関連の催しや、来年の稲門会40周年に向けた新たな展開も 会長代行 山田和子（昭49文）



新年明けましておめでとうございます。会員・準会員の皆様におかれましては、令和最初の新年を清しく、健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。昨年はラグビーワールドカップで調布も大いに盛り上がりました。本年はオリンピック・パラリンピックが開催されます。昨年同様、国内外からの大勢の観客で調布の町は大賑わいになることと思えます。地元にながら、世界を感じる滅多にないこの機会に、調布稲門会も同好会を含め、オリンピック・パ

ラリンピック関連の講演会・映画上映会などを開催する予定であります。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。

昨年は甚大な被害をもたらした自然災害の多い年でもありました。調布市も10月12日台風19号の接近に伴い、多摩川流域住民に対して初めての避難勧告を出しました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

来年2021年、調布稲門会は40周年を迎えます。その節目の年に向け、会員・準会員、地域、大学とさらにコミュニケーションを深め、また新たに会員を迎えるべく努力をしていく所存です。皆様の一層のご支援をお願い致します。

皆様のこの一年のご健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

（写真は、調布社協キャラクター「ちょビット」君とのツーショット。2019年調布市福祉まつりバザー会場にて）

元気はつらつ！同好会

◇暮れには幹事会との合同忘年会で盛り上がる

カラオケ同好会代表 潮田健太郎（昭50理工）

カラオケ同好会はレギュラー会員20人、うち女性6人ですが、レギュラー以外の会員、お友達やプロ歌手の参加、調布稲門会の他の活動とのコラボなど、柔軟に活動しています。

基本的には偶数月の終わりの週にカラオケボックスで開催、そのあと軽く飲むというご機嫌なパターンで、平均8人程度の参加ですが、8月の暑気払い、12月の忘年クリスマス会は雰囲気の良いカラオケスナックなどで開催し、参加者は十数人になることもあります。カラオケでは個性豊かな参加者たちが歌謡曲、ポップス、ジャズ、シャンソン、アニソ

ン、などで古今東西の多彩なレパートリーを繰り広げ、さら



に楽器の名手の演奏もあります。また、歌うと普段のイメージとはまた違う一面を見せる方もおり、ますます親睦が深まります。写真は2019

年12月の忘年クリスマス会で、幹事会と合同で開催、オカリナやピアノでのクリスマスソング演奏のあと、次々と歌が入り大いに盛り上がり、最後はピアノ伴奏で「きよしこの夜」を斉唱しました。敷居が低く奥も深い、楽しく歌って楽しく聴いて楽しく飲む、どなたでも気軽に参加できる会です。

◇絶好のゴルフ日和、総勢16人が楽しむ一三田会との合同コンペ ゴルフ同好会代表 平松勲(昭49商)

調布稲門会ゴルフ同好会は、調布三田会との合同コンペを2019年11月8日（金）に川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催しました。秋の稲門会単独コンペは雨のため中止となりましたが、三田会との合同コンペは天気にも恵まれ、風もなく絶好のゴルフ日和で、和気あいあいとゴルフに楽しむことができました。

参加者は総勢16人（稲門会9人、三田会7人）、恒例により個人戦と団体戦を行いました。今回、個人戦は、稲門会の鹿島さんがネット(73.6)



で優勝。準優勝は三田会の小旗さんでネット(73.6)、第3位は稲門会の大塚さんでネット(74.0)でした。一方、団体戦は参加者の上位5人のネット合計スコアで決めましたが、稲門会は合計ネット(382)、三田会は合計ネット(386)と、僅差で稲門会が優勝しました。競技終了後の表彰式は、コンペルームではなく明るいレストランで行い、稲門会、三田会分け隔てなくゴルフ談義に花を咲かせて盛り上がり、賑やかなひとときとなりました。次回の稲門会単独コンペは2020年の4月、三田会との合同コンペは同5月を予定しています。今回参加された方、また残念ながら参加出来なかった方も、来春のコンペの参加をお待ちしています。

参加者（稲門会のみ） 荒木淳一朗、五十嵐真、石倉毅、大塚公久、鹿島裕一、川崎浩、平松勲、松村啓之亮、望月秀雄

◇調布特別支援学校の調布まつりに6人で参加

Bor・n(ボン)代表 坊野美代子(昭53教育)

東京都立調布特別支援学校（知的障害、小・中学部）の「調布まつり」（2019年12月14日）Bor・n（ボン）のメンバー6人がボランティア参加しました。「調布まつり」は同校PTAによる、一年に一度の子供たちのためのお祭りです。学校の体育館で音楽やダンスのステージを楽しんだり、地域の作業所が作った可愛い小物やクッキー販売などの模擬店を楽しんだり、プラレール、ピタゴラスイッチの展示・体験を楽しんだり。Bor・nメンバーの仕事は、お子さんの付き添いスタッフ、ステージの楽器等入れ替えの裏方さんスタッフ、展示会場でハンディキャップ体験のお手伝いス

タッフなど。取り立てて難しいことをするわけではありませんが、やはり、そこに人手がないと運営がうまくいきません。



私たちの他にも支援学校の常連（ベテラン）サポーターさんや、近隣の桐朋学園中高等学校の生徒さんもボランティアで来ていて、年代を超えたボラ同士の交流ができたことも思わぬ成果でした。

最初の小さな一歩から、徐々に支援の輪が広がるように、これからも地道に活動を続けたいと思います。

参加者 桑原貴子、嶋田浩一、坊野美代子、堀井時枝、山本公子、脇田みちる

◇「ブルガリア講座」開催、2月15日最終講

語ろうアースカフェ代表 山田和子

<ブルガリア講座>

10/5、11/2、本年1/11、ブルガリア講座が開催されました。講師はアントニオ・アナトリエフ・アンゲロフさん（2019年3月早大大学院コミュニケーション研究科卒）。彼は国際理解支援協会の優秀賞受賞者。流暢な日本語で講義も分かり易く面白かった。各回のテーマは、「ブルガリアの概要」、「歴史」、「文化・観光」。ブルガリアはバラとヨーグルトだけではありません。歴史をみるとBC5世紀ごろトラキア人、7世紀からはアジア系ブルガリ人による統治と変遷し、12～14世紀はバルカン半島のほぼ全域を治める最盛期を迎えました。その後500年のオスマン時代、共産主義の時代など国家体制、領土の驚くべき変遷があります。その複雑な歴史の中で育まれた文化も興味深いものがあります。最終回は2/15、テーマは「料理」です。

関連講座として2/2にブルガリア王国時代の首都オフリドを有する隣国、北マケドニアの講座「タイムレス、フレンドリー、グルメな逸品の国」を開催します（全1回）。講師はゾリア・ペトコスカ・カラージェヴァさん（トラベルライター）。

<語ろうアースカフェ春の企画・おしらせ>

3/28 映画上映会 レニ・リーフェンシュタール監督「民族の祭典」

講演会 吉田かおり（セルビア）、山田有佐子（中央アジア）、降旗夏子（英国） 内容：それぞれの海外との交流体験

4/19、6/7（全2回）世界の宗教と食文化 講師青木ゆり子（世界の郷土料理研究家）

問合せ先：山田和子 kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

おくやみ**◇岡田文男会長の逝去を悼む**

2019年6月17日
（月）、岡田文男会長（昭
49理工）が通勤途上、
急逝されました。享年
68。会則に則って山田



和子副会長が直ちに会長代行に就任しました。通夜、葬儀には調布稲門会関係者はじめ早大本部、近隣稲門会、調布三田会などからも多くの方が参列。岡田さんは2017年5月、会長に就任しエネルギーに活躍されました。謹んでご冥福をお祈りします。椎原大典顧問（元会長）と女房役の芦澤友雄幹事長から追悼文を頂きました。（編集部）

椎原大典顧問（元会長）「青天の霹靂です」

まさに青天の霹靂とはこのことか。訃報の第一報をもらった時、二の句が継げなかった。というのも岡田さんが亡くなる日の前日、6月16日（日）の夕方、彼と携帯で10分ほど話をしたばかり。実は16日の午後、元立川稲門会会長の鷺海量良氏から私に電話があり、この日、早大構内を歩いていたら後ろから「鷺海さんではありませんか。私は調布稲門会の者ですが」と声をかけられたが、その方のお名前を聞き取れなかったため、確認のためお電話を差上げた、とのこと。私はすぐに鷺海さんの名を知る人と言えば岡田さんしかないとお答えした。念のため岡田さんの携帯に確認したところ「はい私が声をおかけしました。重量挙げの関係者の会合があったので大学に行っていました」という。そんなやりとりをしたばかりの訃報。私が脳梗塞で倒れて退任後の会長として2年数カ月、調布稲門会発展のため本当によく頑張ってくれ感謝に堪えません。心よりご冥福を祈ります。

芦澤友雄幹事長「楽しそうな笑顔が目目に浮かぶ」

岡田さんと私は、理工学部昭和49年卒の同期であり、専攻は機械、電気と異なりましたが、考え方が似ていることもあって妙に気が合い、岡田会長、芦澤幹事長のコンビを組んでこられました。彼が倒れる2日前の土曜日に幹事会があり、幹事会終了後に新幹事4人と共に懇親会で乾杯しました。これが最後の盃となってしまったわけですが、あの時の楽しそうな笑顔をおぼろげに覚えていることができません。彼は調布稲門会会長だけでなく、機械工学科OB会やウェイトリフティング部OB会の役員を務め、さらには最近、勤務先のOB会の役員も引き受けるなどエネルギーな仕事ぶりが目立ちました。稲門会活動でも幹事会などの会議をはじめ、ゴルフ、ワンゲル、カラオケ、太極拳の同好会活動やキテネの集い、バザーへの参加、調布三田会との懇親な

どほとんどの行事に顔を出していました。我々と共に活動するのが楽しかったのでしょうか。2018年4月から彼は三多摩支部長に就任しましたが、いろんな場面で支部長必須となるスピーチについて、下書きを作っては「これでいいかなあ」と私に意見を聞きに来て、原稿が出来ると一生懸命、暗記しようとしていました。まさに真面目を絵に描いた人物でした。思いやりとコミュニケーションで稲門会を引っ張ってきた功績は非常に大きなものでした。謹んでご冥福をお祈り致します。

おくやみ**◇吉尾勝征顧問、逝去**

2019年12月21日、調布稲門会顧問で元調布市長の吉尾勝征氏（昭43法）が75歳で逝去されました。親しくお付き合いのあった元木勇顧問（元会長）から追悼の言葉を頂きました。（編集部）

元木勇顧問（元会長）「本当に素晴らしく、惜しい人でした」

あまりにも突然のことで驚いております。何と申し上げてよいやら今は言葉も見つかりません、誠に残念です。吉尾勝征顧問は調布市長として、4期16年にわたって市の発展と市民福祉の向上に多大な力を尽してこられました。また調布稲門会の設立に当たり、一緒になって行動し、発展にお力添えも頂きました。私は市議会議員としても個人としても大変お世話になりました。意は尽せませんが、本当に素晴らしい、惜しい人でした。これからも何かと教えて頂こうと思っておりましたのに、非常に悲しく、辛い思いでいっぱいです。心からご冥福をお祈り申し上げます。

◇山本建治元幹事、逝去

元稲門会幹事の山本建治氏（昭41理工）が2019年11月8日に76歳で逝去されました。山本さんは2014年に病気で倒れ、5年にわたるリハビリなど闘病生活をしてこられました。稲門会では幹事活動の傍らゴルフ、テニス同好会やアースカフェの活動に精力的に参加、活躍されました。2014年のアースカフェ主催ウズベキスタン旅行に参加した際には、「ウズベキスタン紀行」と題してプロはだしの短歌を多数作って会報に投稿するなどの多芸多才ぶりを発揮され、また同行者には素晴らしい写真を多数提供して頂き、思い出作りに一役買って下さいました。謹んでご冥福をお祈り致します。（芦澤友雄）

短信・おしらせ

◇新会員紹介（前号発行後入会＝敬称略、氏名、卒年・学部）

[正会員]後藤秀樹（昭54理工）、小口俊明（昭59法）、嶋崎慎太郎（平7教育）、嶋崎真紀子（平7教育）、川嶋菊枝（昭58文）



2019 福祉まつりバザーから「作業風景点描」 朝 8 時半集合、準備作業におおわらわ、午前 10 時～午後 2 時半の接客販売に汗かく

令和元年度調布稲門会 年会費お支払いのお願い 会計担当 坊野美代子 明石純一

令和 2 年 3 月末で今期の会計年度は終了となりますので、年会費未納の方は至急お手配下さいようお願い申し上げます。

この紺碧第 51 号お届け時に郵便払込み票同封の方が未納会員です。

年会費振込先 口座名「調布稲門会」 ゆうちょう銀行 当座 00120-8-101851 みずほ銀行調布支店 普通 0997965

＜編集後記＞2019 年末、テロに倒れた中村哲医師は心に残る人物でした。同世代でもあり以前からアフガンでの活動を紹介する TV 番組や本人自身の文章に触れ、彼のひととなりや業績に大きな感銘を受けました。早稲田とも縁がないわけではなく、彼の母方の実家は小説「花と龍」のモデルとなった福岡・若松の沖仲仕の元締で、著者の芥川賞作家火野葦平(英文科中退)は伯父。中村医師の座右の銘が「照一隅」だったと最近知りましたが、津々浦々でコツコツと地道に活躍する早稲田人の本領はその「照千一隅 此則國寶」にあるのではないのでしょうか。余談ですが会報連載の「調布稲門人」の企画趣旨にも通じます。2019 年は調布稲門会でも、活動を牽引した岡田文男氏、山本建治氏、そして顧問の吉尾勝征氏が惜しまれて鬼籍に入りました。岡田氏らの遺志を引き継いで、オリンピックイヤーの今年一年、気持ちも新たに充実した稲門会活動を展開したいものです。(高原浩 記)

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 元祖 嶋田家 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>早稲田大学代議員 調布稲門会 会長代行 山田 和子 「語るアースカフェ」代表 自宅 〒182-0035 東京都調布市上石原3-39-15 電話 042-488-0741 E-mail: kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</p>	<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木 光孝 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>新技術 UV プリント 立体感などにフルカラーでダイレクト印刷 活字の置き換えやオリジナル製法を追求する方に 名刺・ショップカード・ポストカード 記念誌・冊子印刷・アルバム等 3030印刷 堀内田平和堂 ☎ 03-3300-7301</p>	<p>イベント・パーティー (株)正直屋グループ 住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 http://www.shojikiya.co.jp/</p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法務事務所 行政書士 堀内正之 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p>本格カレー&ダイニング M's Kitchen エムス キッチン 住所 〒182-0024 調布市布田4-2-7 ホテルノービス調布1階 電話 042-444-2185 調布駅 1分 飯野病院西側 月曜日定休</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 調布クレストンホテル 住所 〒182-0026 調布市小島町1-38-1 調布バルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 http://www.crestonhotel.jp</p>
<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 元木 勇 自宅 〒182-0003 調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋沢 淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 http://www.okomekan.net/</p>	<p>早稲田大学商議員 調布稲門会 顧問 椎原 大典 自宅 〒182-0022 東京都調布市国領町8-2-9 ライフタウン国領1-426 電話・FAX 03-3430-4338</p>